

地域・社会との共生

基本的な考え方

日本製紙グループは社会の一員として社会全体の発展に貢献したいと考えています。必要とされる製品の供給を続けるとともに、地球環境の保護、文化や地域社会の発展にも役立ちたい——そのための活動を積み重ねていくことが、社会から信頼を得て、地域と共生しながら事業活動を続けていくことにつながります。

→理念と基本方針

<https://www.nipponpapergroup.com/csr/policies/>

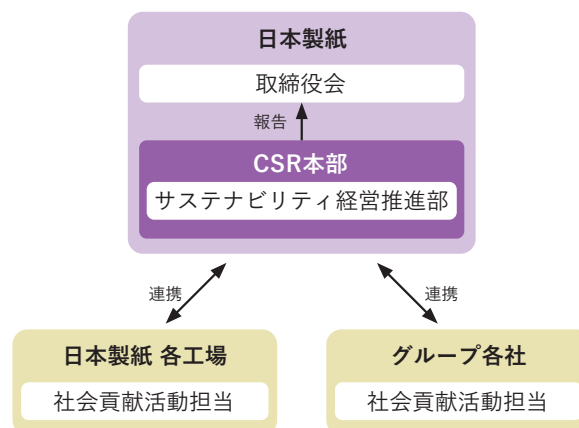
推進体制

日本製紙の各工場およびグループ各社では、社会貢献活動の担当者がそれぞれの地域との共生を深める活動を継続して実施しています。当社CSR本部は、工場・グループ会社と連携し、社会貢献活動の実施状況を把握するとともに、当社の取締役会に報告しています。

また、当社ではボランティア休暇を設け、従業員の自主的なボランティア活動への参加を制度面で支援しています。

— 具体的な活動テーマ

- グループ各社の工場および海外現地法人における地域活動の充実
- グループの専門性や資源を活かした活動の推進
- 従業員が主体となって取り組む社会貢献活動の推進
- 日本国内の社有林（約9万ヘクタール）の有効活用
- 社内外への積極的な広報活動



日本製紙グループの主要な社会貢献活動一覧

主な取り組み	具体例
地域・社会に関する活動	
地域美化活動	事業所周辺等の清掃活動
	小学校等への花苗寄贈
地域の安全・防災	子ども110番パトロール事業への協力
	交通安全の意識喚起
	振り込め詐欺防止への協力
	消防団への参加、植林地域における消防団への参加※
地域文化の保全	民族振興施設への紙製マスクケース寄贈
先住民族への配慮	先住民遺跡の保護※
	先住民族の遺跡がある土地を恒久的な保護区に指定※
地域イベントの開催・参加	地域行事への参加・協賛
	所有する福利厚生施設（体育館など）の一般への開放
福祉活動	ピンクリボン運動を支援するコピー用紙の販売
	低所得層の方への物品等の提供※
	社会福祉団体のイベントへの参加・協賛
意識啓発の機会提供	CSR講演会の開催（オンライン配信）
科学技術の振興	藤原科学財団への支援
災害時の支援活動	義援金や医療現場への支援
	豪雨災害の被災者用仮設住宅用地の貸与
環境に関する活動	
社有林の活用	「シラネアオイを守る会」の活動支援
生物多様性の保全	シマフクロウの生息地保全と事業の両立
	人工巣箱設置によるシマフクロウの繁殖条件改善
	西表島で外来植物の駆除活動
リサイクル活動の推進	社内での使用済紙コップ回収リサイクル
	紙パック回収リサイクル
地域への説明責任	環境コミュニケーションの実施
教育に関する活動	
社有林の活用	「森と紙のなかよし学校」の開催
社会見学の機会の提供	工場見学、林業施業現場の見学受け入れ
就業支援	インターンシップの受け入れ
	植林地周辺コミュニティ住民を対象とした職業訓練の実施※
従業員による授業	出前授業、学校授業への協力
音楽を通じた教育機会の提供	音楽コンクールへの協賛
スポーツを通じた教育機会の提供	マラソン大会への協賛
	低所得層の子どもたちを対象にしたスポーツ教室を支援※
教育現場への製品提供	教育機関への自社製品提供

※海外での活動